

VA/V E 文献リスト (その2D)

C. 開発工学・設計工学〔創造設計(構想設計/概念設計)・開発設計(詳細設計)・生産性設計など〕

／デザイン科学(デザイン・サイエンス=設計工学)／組立性・分解性設計(DFMA)など

[注1] DFMA: Design for Manufacture and Assembly=組立性・分解性を考慮した設計

※DFX: Design for... (X) の用語もある。1) DFM=製造作業性, 2) DFT=試験容易性, 3) DFS=サービス性・保守性, 4) DFE=環境負荷軽減, 5) DFU=ユーザー・利用者

[注2] 設計のプロセスとその関連VE活動: I. 新製品の計画段階: 製品企画/商品企画⇒II. 新製品の開発段階: 『開発設計/新規設計その1』 [①基本設計(概念設計)→②詳細設計→③生産性設計(量産設計)] ⇒III. 原価改善/原価維持段階: 『改良設計/見直し設計=1st Look VE/2nd Look VE』 ⇒IV. モデルチェンジ/原価企画段階: 『大幅変更設計/新規設計その2=ゼロLook VE』

[注3] 我が国の設計レベルは、1950年代「模倣設計」/1960年代「類似設計」/1970年代「独自設計」/1980年代『創造設計』と見受けられ、1970年代から『設計工学・創造設計・設計方法・設計プロセス』の研究が始まって、各種の書籍が発行されるようになった。

I. 1990(平成2)年以前

- 001 「製品設計データブック」D.C.グリーンウッド編, 松下電器電化事業本部・技術研究所生産技術研究会訳, 日刊工業新聞社, 1964. 7 (原著) Engineering Data for Product Design, Douglass C. Greenwood, McDraw-Hill Book Co., 1961
- 002 「創造工学による設計手順(アイデアからパテントまで)」ハロルド・R. ビュール著, 科学と人間の会創造性研究所訳, 鹿島研究所出版会, 1965. 10 (原著) Creative Engineering Design, Harold R. Buhl, Iowa State University Press, 1960 [鹿島研究所出版会⇒鹿島出版会]
- 003 「生産性設計入門」山村誠一著, 白桃書房, 1967. 6
- 004 設計工学シリーズ1「設計工学基礎」北郷薫著, 丸善, 1972. 6 [丸善⇒丸善出版]
- 005 設計工学シリーズ4「生産性設計」阿武芳朗編, 丸善, 1973. 11 (注) 13. 価値分析, P395-414
- 006 「エンジニアリング入門(創造的問題解決の技術)」エドワード・V. クリック著, 渡辺真一ほか共訳, ソーテック社, 1976. 12 (原著) An Introduction to Engineering & Engineering Design [2nd Edition], Edward V. Klick, John Wiley & Sons Inc., 1965/1969
- 007 「自動化機構300選(制御回路付き)」熊谷卓編, 日刊工業新聞社, 1978. 12 (参考) 改訂新版2011. 3あり
- 008 「エンジニアリングシステム設計工学」赤木新介著, 共立出版, 1982. 5
- 009 「開発工学入門(理論・実践・手法)」ダイヤモンド経営開発情報編集部編, 開発工学研究会運営委員会監修, ダイヤモンド社, 1982. 11
- 010 「設計工学概論」長江貞彦編著, 日刊工業新聞社, 1983. 3
- 011 「メカニズムの事典<機械の素> [改題縮刷版]」伊藤茂編, 理工学社, 1983. 5 (参考) このオーム社発行版2013. 12あり
- 012 「商品開発(100のアドバイス)」星満著, 日刊工業新聞社, 1984. 2 (注) 第6章 商品開発を支えるもの(VAの進め方と考え方), P102-123 (参考) 類似題名1988. 1あり
- 013 放送大学教材「設計工学(解析と総合)」阿武芳朗編著, 放送大学教育振興会発行/日本放送出版協会発売, 1986. 3 (注1) 14. 5 価値分析, P136-141 (注2) 1-設計概説, P9-19 (参考) 同一題名1990. 3あり [日本放送出版協会⇒NHK出版]
- 014 「新商品開発技法ハンドブック」高橋誠監修・編著, 日本ビジネスレポート, 1986. 7 (注) II 6. バリュアアナリシス法, VA発想法, P295-301/VD(バリューデザイン)法, P302-308/VEAM法, P309-314
- 015 「JISに基づく機械システム設計便覧」機械システム設計便覧編集委員会編, 日本規格協会, 1986. 12

- 016 「開発工学（シーズーニーズ・ジョイントテクノロジー）」大石不二夫編著，朝倉書店，1987. 9
- 017 「設計の方法（創造的設計へのアプローチ）」岸本行雄著，日科技連出版社，1987. 11（注）
1. 2（1）VAによるコストダウン，P206-208
- 018 「商品化設計（100のアドバイス）」星満著，日刊工業新聞社，1988. 1（注）47. VAとコストダウン，P94-95（参考）類似題名1984. 2あり
- 019 実際の設計選書「実際の設計（機械設計の考え方と方法）」畑村洋太郎編著，日刊工業新聞社，1988. 7（参考）改訂新版2014. 12あり
- 020 「経験に基づいた機械設計のイロハ」宗孝著，日刊工業新聞社，1989. 2
- 021 「これからのマシン・デザイン」伊藤廣編著，森北出版，1989. 7（注1）第2章 基本設計，P18-29／第11章 経済設計，P175-183（注2）第12章 設計管理，P184-204
- 022 放送大学教材「設計工学（解析と総合）」塚田忠夫編著，放送大学教育振興会発行／日本放送出版協会発売，1990. 3（注）1-設計と創造性，P9-20（参考）同一題名1986. 3あり
- 023 「実践自動化機構図解集」熊谷卓編，日刊工業新聞社，1990. 4（参考）続編1994. 10／新編2010. 2あり

II. 1991（平成3）年～2010（平成22）年

- 024 日経メカニカル別冊「メカ設計塾①構想設計から機械要素の決め方まで／②基礎から学ぶ実践的メカトロ設計／③設計に必要な材料・製造技術の基礎と応用」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1991. 5
- 025 「設計の原理（創造的機械設計論）」N. P. スー著，畑村洋太郎監訳，朝倉書店，1992. 4（原著）The Principles of Design, Nam P. Suh, Oxford University Press Inc., 1990（参考）続編「公理的設計」森北出版2004. 7あり
- 026 「熱設計ハンドブック」大島耕一ほか共編，朝倉書店，1992. 6（参考）普及版2006. 6あり
- 027 実際の設計選書「続・実際の設計（機械設計に必要な知識とデータ）」畑村洋太郎編著，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，1992. 7（参考）改訂新版2017. 3あり
- 028 「電子機器の熱設計（トラブルをさけるための）」伊藤謹司・国峰尚樹共著，日刊工業新聞社，1997. 10（参考）第2版2006. 8あり
- 029 実際の設計選書「機械設計の基礎知識（ばじめて設計をする人へ）」実際の設計研究会監修，米山猛著，日刊工業新聞社，1993. 3（注）第I部 3. 1 機能，P33-40
- 030 「回路設計心得ノート」山崎浩著，日刊工業新聞社，1993. 5
- 031 東京大学機械工学3「機械設計（基本原理からマイクロマシンまで）」中島尚正著，東京大学出版会，1993. 10
- 032 「メカアイデア事典（Part I-IV, Index）」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1993. 12
- 033 「徹底理解のための 機械設計技術入門マニュアル」宗孝著，日刊工業新聞社，1994. 3（注）3. 8 価値分析マニュアル，P226-232
- 034 「続・実践自動化機構図解集（よくわかるメカと制御）」熊谷英樹編著，日刊工業新聞社，1994. 10（参考）新編2010. 2あり
- 035 「工学設計（体系的アプローチ）」G. ポール & W. バイツ共著，ケン・ワラス編，設計工学研究グループ訳，培風館，1995. 2（原著）Engineering Design: A Systematic Approach, Gehard Pahl & Wolfgang Beits, Edited by Ken Wallas, The Design Council, 1988英語版（注1）2. 1. 3 機能との相互関係，P27-31（注2）3. 設計プロセス，P43-50／5. 概念設計，P65-182（参考）この改題改訂版「エンジニアリングデザイン [第3版]」森北出版2015. 2あり
- 036 「設計のムダ退治101」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1995. 3
- 037 「編集設計法とその実際（ビルト・ブロック・システムからのアプローチ）」加藤顕剛・塩崎孝一共著，日刊工業新聞社，1995. 8
- 038 日経メカニカル別冊「勘どころ設計技術 [応用編] 原価低減マニュアル」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1995. 12
- 039 「生産コスト削減のための製品設計（BoothroydのDFMA）」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1996. 3（原著）Product Design for Manufacturing & Assembly, Geoffrey

- Boothroyd, Marcel Dekker Inc., 1994 (参考) 改訂版1998. 7あり
- 040 「設計の凡ミス退治101」伊豫部将三著, 日刊工業新聞社, 1996. 5
- 041 日経メカニカル別冊「勘どころ設計技術<シリーズI>部品設計の基礎/<シリーズII>機械要素の選択/<シリーズIII>製品設計の基礎」日経メカニカル編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1996. 9
- 042 「製品アセスメントとリサイクル設計事例(自動車・家電製品・OA機器等)」永田勝也監修, クリーン・ジャパン・センタ編, クリーン・ジャパン・センタ発行/省エネルギーセンター発売, 1996. 9
- 043 実際の設計選書「続々 実際の設計(失敗に学ぶ)」畑村洋太郎編, 実際の設計研究会著, 日刊工業新聞社, 1996. 10
- 044 「環境にやさしい設計ガイド」EPA編, 梅田富雄訳, 工業調査会, 1996. 11 (原著) Design for the Environment (Product Life Cycle Design Guideline Manual), Government Institutes Inc., 1992
- 045 「リサイクル設計の技術(製品解体を容易にする新設計手法、ISO14000対応)」中村茂弘著, 日本能率協会マネジメントセンタ, 1996. 12 (注) 第3章 1. 3 VE手法とリサイクル対策, P76-84
- 046 「設計の技術(製造業における源流管理)」長岡一三著, 森北出版, 1997. 3 (注) 2. 8 価値分析(VA), P127-130
- 047 「設計の経験則101」伊豫部将三著, 日刊工業新聞社, 1997. 3
- 048 「ライフサイクルデザインのための組立性・分解性工学」山際康之著, 工業調査会, 1997. 5
- 049 日経メカニカル別冊「勘どころ材料技術(18製品の実例に学ぶ材料活用法)」日経メカニカル編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1997. 7
- 050 「地球に優しい未来技術(分解+組立容易性、パテントMAP解析)」特許・リサイクル対策研究会編, 発明協会, 1997. 7 [発明協会⇒発明推進協会]
- 051 「エレクトロニクスのための熱設計完全入門(わかりやすく・やさしく・役立つ)」国峰尚樹著, 日刊工業新聞社, 1997. 7 (参考) 類似題名2018. 5あり
- 052 [日経文庫 759](#)「商品開発の実際」高谷和夫著, 日本経済新聞社, 1998. 1 [日本経済新聞社⇒日本経済新聞出版社]
- 053 「生産コスト削減のための製品設計(BoothroydのDFMA) [改訂版]」日経メカニカル編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1998. 7
- 054 「実践 機械設計<I. 初級編>(クリエイティブ・エンジニアリングをめざして)」創造的設計研究会編, 工業調査会, 1998. 12
- 055 「実践 機械設計<II. 中上級編>(クリエイティブ・エンジニアリングをめざして)」創造的設計研究会編, 工業調査会, 1999. 2
- 056 [ブルーバックス B-1256](#)「リサイクルを助ける製品設計入門(分解まで考えたモノづくり)」山際康之著, 講談社, 1999. 6
- 057 実際の設計選書「設計者に必要な加工の基礎知識(これだけは知っておきたい機械加工の常識)」実際の設計研究会監修, 稲城正高・米山猛共著, 日刊工業新聞社, 1999. 6
- 058W 実際の設計選書「設計のナレッジマネジメント(創造設計原理とTRIZ)」中尾政之・畑村洋太郎・服部和隆共著, 日刊工業新聞社, 1999. 12
- 059 岩波講座 現代工学の基礎1「設計の方法論<設計系III>」畑村洋太郎著, 岩波書店, 2000. 5 (注) 4 創造的設計の方法, P83-138
- 060 「リサイクル設計入門」機械設計編集部&電子技術編集部共編, 日刊工業新聞社, 2000. 6
- 061 「リサイクル製品設計ハンドブック」中村茂弘編著, 特許・リサイクル対策研究会著, 日刊工業新聞社, 2000. 10
- 062 「機械創造学」畑村洋太郎・小野耕三・中尾政之共著, 丸善出版, 2001. 3 (注) 1. 3 設計の基本過程, P5-8/1. 4 設計の手順, P8-11 [東大機械系3学科の講義内容]
- 063 「開発設計工学(独創的な商品開発のための工学的手法)」中沢弘著, 工業調査会, 2001. 3
- 064 「自動車プロジェクト開発工学(環境、ITS、運動性能、物流)」藤岡健彦ほか共著, 技報堂出版, 2001. 5 [東京大学工学部『自動車工学』講義テキスト] [ITS: Intelligent Transport System]
- 065 「はじめてのロボット創造設計」米田完ほか共著, 講談社, 2001. 9 (参考) 改訂第2版201

3. 7あり

- 066 「環境適合設計の実際」市川芳明編著，オーム社，2001. 11
- 067 「製品開発のための材料力学と強度設計ノウハウ」鯉淵興二・小久保邦雄共著，日刊工業新聞社，2002. 4
- 068 「環境調和型製品のモノづくり戦略と設計」山際康之著，日刊工業新聞社，2002. 4
- 069 「独創的ロボットの研究開発（夢のあるロボットと役に立つロボット）」山藤和男・田中孝之共著，養賢堂，2002. 6
- 070 日経文庫 862 「製品開発の知識」延岡健太郎著，日本経済新聞社，2002. 9
- 071 岩波講座 現代工学の基礎 15 「設計の理論＜設計系Ⅱ＞」富山哲男著，岩波書店，2002. 12
- 072 「プリント基板設計の基礎と応用（CADを用いた実装設計と回路設計ノウハウ）」小島東作著，森北出版，2003. 1
- 073 「創造的工学設計の方法（新しいモノ創りの原理）」川面恵司・須賀雅夫共編，養賢堂，2003. 3
（注1）第4章 VEによる製品設計，P52-76（注2）第6章 TRIZ，P91-110
- 074 実際の設計選書「設計者に必要な材料の基礎知識（これだけは知っておきたい機械材料の知識とデータ）」実際の設計研究会監修，手塚則雄・米山猛共著，日刊工業新聞社，2003. 8
- 075 機械工学基礎コース「創造設計学」中尾政之著，丸善出版，2003. 9
- 076 新・数理工学ライブラリー機械工学①「新・機械設計学（設計の完成度向上をめざして）」大滝英征著，数理工学社，2003. 9
- 077 「サステナブルデザイン（製品開発における環境への配慮）」山際康之著，丸善出版，2004. 4
[サステナブル：Sustainable=持続可能な]
- 078 「公理的設計（複雑なシステムの単純化設計）」Nam Pyo Suh 著，中尾政之・飯野謙次・畑村洋太郎共訳，森北出版，2004. 7（原著）Axiomatic Design, Nam Pyo Suh, Oxford University Press Inc., 2001（参考）「設計の原理」朝倉書店1992. 4の続編
- 079 新世紀の工学シリーズ3「デザインテクノロジー」米山猛著，培風館，2004. 9（注）3 設計の思考過程，P27-42／5 構造と形状の工夫，P65-84
- 080W 「BOM [部品表] によるモジュール化設計・生産入門」新井啓介著，日刊工業新聞社，2005. 5
（注1）第3章 モジュール化設計に取り組む，P51-83（注2）第5章 設計の生産性向上とマネジメント力，P157-168
- 081 「『設計思考展開』入門（設計者の頭の中を整理する）」有泉徹著，日刊工業新聞社，2005. 6
- 082 「ここが知りたいロボット創造設計」米田完ほか共著，講談社，2005. 9（参考）類似題名2007. 2あり
- 083W 「QFD・TRIZ・タグチメソッドによる開発・設計の効率化」今野勤ほか共著，日科技連出版社，2005. 11
- 084 「環境適合設計ツールの活用入門（コアツールLCA、QFDE、TRIZの効果的活用方法とその事例）」坂尾知彦編著，増井慶次郎ほか共著，日科技連出版社，2006. 1
- 085 「熱設計ハンドブック＜普及版＞」大島耕一ほか共編，朝倉書店，2006. 6
- 086 「コスト構造改革のヒント（橋の設計・デザインを楽しく）」寺田和己著，鹿島出版会，2006. 7
- 087 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい機械の本」朝比奈奎一・三田純義共著，日刊工業新聞社，2006. 8 [機械の要素・機構（メカニズム）を、『機能（働き）』で説明している]
- 088 「電子機器の熱設計（トラブルをさけるための）[第2版]」伊藤謹司・国峰尚樹共著，日刊工業新聞社，2006. 8
- 089 「めっちゃ使える！機械便利帳（すぐに調べる設計者の宝物）」山田学著，日刊工業新聞社，2006. 10
- 090W 「開発設計のためのTRIZ入門（発明を生む問題解決の思考法）」笠井肇著，日科技連出版社，2006. 10
- 091 「技術の創造と設計」畑村洋太郎著，岩波書店，2006. 11（注）3. 創造学のすすめ，P127-254／4. 考えを作る，P255-301
- 092 「これならできるロボット創造設計」坪内孝司ほか共著，講談社，2007. 2（参考）類似題名2005. 9あり
- 093 「初歩から学ぶ設計手法（多彩なツールにふり回されないための戦略的な設計開発の考え方）」大富浩

- 一著，工業調査会，2007. 5（注）第4章 4. 2 価値評価のための設計手法，P 57-70
- 094 「機械工学便覧 デザイン編『β1設計工学』」日本機械学会編，日本機械学会，2007. 5（注1）第4章 4. 1. 4 VE，P 153-154（注2）第4章 4. 1. 3 源流管理としてのコストダウンと原価企画，P 152-153
- 095 「設計の科学 価値づくりの設計」石井浩介・飯野謙次共著，養賢堂，2008. 4（注）第2章 競争に勝つための価値の認識と機能解析，P 26-36
- 096 「設計検討って、どないすんねん！（現場設計者が教える仮説検証型設計のポイント）」山田学編著，青山繁男ほか共著，日刊工業新聞社，2008. 7
- 097 「エンジニアリングデザイン（製品設計のための考え方）」ナイジェル・クロス著，荒木光彦監修，別府俊幸・高橋栄共訳，培風館，2008. 7（原著）Engineering Design Methods ; Strategies for Product Design (4th Edition) , Nigel Cross, John Wiley & Sons Ltd. , 2008（注）Part 2 6. 目標の明確化. P 65-76 / 7. 機能の確立, P 77-87 / 8. 要求の設定, P 89-100 / 9. 特性の決定, P 101-112 / 12. 細部の改良（バリューエンジニアリング）, P 143-158
- 098 「創造設計の技法（東大創造設計演習に学ぶ設計の奥義）」中尾政之・濱口哲也・草加浩平共著，日科技連出版社，2008. 8 [創造設計=要求機能（目的：コトバ）→設計解（手段：カタチ）]
- 099 「最適デザインの概念」松岡由幸・宮田悟志共著，共立出版，2008. 10（参考）類似題名2013. 10あり
- 100 「デザインサイエンス（未来創造の『六つ』の視点）」デザイン塾監修，松岡由幸編著，丸善出版，2008. 11
- 101 「『設計力』こそが品質を決める（デンソー品質を支えるもう一つの力）」寺倉修著，日刊工業新聞社，2009. 1（注）第7章 構想設計の進め方（実施例），P 169-191
- 102 「めっちゃ、メカメカ！リンク機構99→∞（機構アイデア発想のネタ帳）」山田学著，日刊工業新聞社，2009. 1
- 103 「ついてきなあ！『設計書ワザ』で勝負する技術者となれ！」國井良昌著，日刊工業新聞社，2009. 4
- 104 「入門プリント基板の回路設計ノート」高木清・安食弘二共編，サーキットネットワークほか共著，日刊工業新聞社，2009. 5
- 105 図解ロボット技術入門シリーズ「ロボットメカニズム（構造と機械要素の機構）」松元明弘・横田和睦共著，オーム社，2009. 6（参考）同一題名2018. 12あり
- 106 日経ものづくりの本「『実践』モジュラーデザイン（時代が求めている新しい解）」日野三十四著，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2009. 7（注）第2部 5. 2 製品VE，P 97-101（参考）改訂版2011. 10あり
- 107 「プロダクトデザイン [Product Design]（商品開発に関わるすべての人へ）」日本インダストリアルデザイナー協会編，ワークスコーポレーション，2009. 7（参考）類似題名2014. 12あり [ワークスコーポレーション⇒ポーンデジタル]
- 108 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい回路設計の本」谷腰欣司著，日刊工業新聞社，2009. 12
- 109 「新・実践自動化機構図解集（ものづくりの要素と機械システム）」熊谷英樹編著，日刊工業新聞社，2010. 2
- 110 「設計モジュール化技法（図面を描かずに設計する!）」経営システム研究所編，日刊工業新聞社，2010. 3
- 111 「図解 形状設計ノウハウハンドブック（デザイン科学が読み解く熟練設計者の知恵と工夫）」松岡由幸著，日刊工業新聞社，2010. 7（注）1. デザイン科学が読み解く形状設計ノウハウ，11-23
- 112 「ついてきなあ！失われた『匠のワザ』で設計トラブルを撲滅する！（設計不良の検出方法と完全対処法）」國井良昌著，日刊工業新聞社，2010. 10
- 113 「実務に役立つ自動機設計ABC（初心者必携!）」熊谷英樹著，日刊工業新聞社，2010. 11
- 114 「デザイン・アイデア200選（設計に役立つヒント集）」新興技術研究所監修，田村均・水野浩共著，日刊工業新聞社，2010. 12

Ⅲ. 2011（平成23）年以降

- 115 「金属材料・部品の損傷および破損原因と対策Q&A」藤本榮著，日刊工業新聞社，2011. 1
- 116 「自動化機構300選（制御回路付き）[改訂新版]」新興技術研究所監修，熊谷卓ほか共編，日刊工業新聞社，2011. 3
- 117 「ついてきなあ！材料選択の『目利き力』で設計力アップ（『機械材料の基礎知識』てんこ盛り）」國井良昌著，日刊工業新聞社，2011. 3
- 118 「射出成形特性を活かすプラスチック製品設計法」本間精一著，日刊工業新聞社，2011. 7
- 119 「ずっと受けたかった ソフトウェア設計の授業（構造化・モジュール化・仕様化の原理）」飯泉純子・大槻繁共著，翔泳社，2011. 8 ※電子版あり
- 120 「最大実体公差（図面って、どない描くねん！LEVEL3）」山田学著，日刊工業新聞社，2011. 9
- 121 「組立性・分解性設計（資源循環を進めるモノづくり）」山際康之著，講談社，2011. 9
- 122 「機械工学ハンドブック」中島尚正ほか共編，朝倉書店，2011. 10（注）IV-2 1 設計方法論，P625-635
- 123 日経ものづくりの本「『実践』モジュラーデザイン（工場空洞化時代に勝ち進むために）[改訂版]」日野三十四著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2011. 10（注）第2部 5. 2 製品VE，P109-113
- 124 日経ものづくりの本「設計のムダ取り 公差設計入門（コストと品質のバランスを最適化する）」栗山弘著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2011. 11
- 125 実際の設計選書「設計者に必要なソフトウェアの知識」実際の設計研究会監修，藤田和彦著，日刊工業新聞社，2011. 11
- 126 「基礎から学ぶ実用機械の設計」渡辺康博著，オーム社，2012. 2 ※電子版あり
- 127 「現代設計工学」石川晴雄編著，中山良一・井上全人共著，コロナ社，2012. 4（注）2. 3 概念設計（機能設計），P25-32
- 128 「環境配慮型設計（エコが征す商品開発）」畠中伸敏著，日科技連出版社，2012. 4
- 129 「思いどおりの『樹脂部品設計』ここがポイント！」プロトラブス著，水野操編著，日刊工業新聞社，2012. 5
- 130 「建築のデザイン科学」日本建築学会編，京都大学学術出版会，2012. 5（注）第5章 2 発想的デザイン思考を学ぶ，P220-247
- 131 「知ってなアカン！機械技術者 モノづくり現場の『構想設計力』入門」古川功ほか共著，日刊工業新聞社，2012. 6
- 132 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい熱設計の本」国峰尚樹ほか共著，日刊工業新聞社，2012. 7
- 133 「ついてきなあ！設計のポカミスなくして楽チン検図」國井良昌著，日刊工業新聞社，2012. 8
- 134 「ついてきなあ！昇進したいあなたに贈る『勝つための設計力』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2012. 11
- 135 新コロナシリーズ58「製品開発の心と技（設計者をめざす若者へ）」安達瑛二著，コロナ社，2012. 12（注）付録 思い出の「トヨタ主査制度」，P150-163
- 136 「めざせ！最適設計 実践・公差解析」鈴木真人・萩原あづみ共著，日刊工業新聞社，2013. 1
- 137 「設計センスを磨く空間認識力『モチアゲ』（『勘』と『論理力』と『ポンチ絵スキル』をアップ!）」山田学著，日刊工業新聞社，2013. 4（参考）類似題名2018. 11あり
- 138 「分解デザイン工学：バラバラにすることで価値を生む」山際康之著，東京大学出版会，2013. 4
- 139 「ついてきなあ！品質とコストを両立させる『超低コスト化設計法』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2013. 6
- 140 「はじめてのロボット創造設計 [改訂第2版]」米田完ほか共著，講談社，2013. 7
- 141 「Mメソッド（多空間のデザイン思考）」デザイン塾監修，松岡由幸編著，氏家良樹ほか共著，近代科学社，2013. 7 ※電子版あり [Mメソッド：Multispace Design Method]
- 142 「図解入門 現場で役立つ機械設計の基本と仕組み」大高敏男著，秀和システム，2013. 8
- 143 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい機械設計の本」Net-P. E. Jp編著，横田川昌浩ほか共著，日刊工業新聞社，2013. 9（注1）第8章 68 VA、VE，P158-159（注2）第2章 機械設計のプロセス，P21-40（参考）類似題名2015. 11あり

- 144 「加工材料の知識がやさしくわかる本」西村仁著，日本能率協会マネジメントセンタ，2013. 9
（注）第7章 材料選定の手順，P155-187
- 145 サイエンス・アイ新書 SIS-288「基礎から学ぶ機械設計（キカイをつくって動かす実践ものづくり学の実践編）」門田和雄著，ソフトバンク・クリエイティブ，，2013. 9 ※電子版あり [ソフトバンク・クリエイティブ⇒SBクリエイティブ]
- 146 「創発デザインの概念」松岡由幸編著，宮田悟志ほか共著，共立出版，2013. 10（参考）類似題名2008. 10あり
- 147 「実践 超高収益商品開発ガイド（粗利80%実現7つのステップ）」高杉康成著，日本経済新聞出版社，2013. 10
- 148 「自動車設計革命（TPPに勝つもの作りの原点）」長谷川洋三著，中央公論新社，2013. 11
[TPP:Trans-Pacific Economic Partnership Agreement=環太平洋経済連携協定]
- 149 「エンジニアリングデザイン入門（技術の創造と倫理の基礎）」柴田尚志監修，林和伸ほか共著，理工図書，2013. 11（注1）4. 6 価値向上手法（VA・VE・VI），P133-134（注2）2. 1 開発のプロセス，P23-25/2. 7 仕様を決める & 2. 8 構想する，P47-57
- 150 「知ってなアカン！機械技術者 設計検討のための新常識」佐野義幸ほか共著，日刊工業新聞社，2013. 12（注）3-3 VEの手法でコストダウン，P130-138
- 151 「メカニズムの事典<機械の素> [改題縮刷版]」伊藤茂編，オーム社，2013. 12 [メカニズムと機械の要素800例]（参考）理工学社1983. 5のオーム社発行版
- 152 「ついてきなあ！悪い『設計変更』と良い『設計変更』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2014. 3
- 153 「創造デザイン工学」田浦俊春著，東京大学出版会，2014. 6（注）第Ⅲ部 概念設計の理論と方法論，P115-141
- 154W 「原価低減と性能改善を両立する製品開発」泉丙完著，ブイツーソリューション，2014. 6
- 155 「知ってなアカン！機械技術者 そんな設計じゃ罰せられますよ！」古川功か共著，日刊工業新聞社，2014. 7
- 156 「リーン製品開発方式（トヨタが実践する価値創造の確かな進め方）」アレン・ウォード&デュワード・ソベック著，稲垣公夫訳，日刊工業新聞社，2014. 9
- 157 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしいメカトロニクスの本」三田純義著，日刊工業新聞社，2014. 9
- 158 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしいEMCとノイズ対策の本」鈴木茂夫著，日刊工業新聞社，2014. 9 [EMC:Electro-Magnetic Compatibility=電磁両立性、類似語EMI:Electro-Magnetic Interference=電磁波妨害]
- 159 「ついてきなあ！やさしい研修編『機械設計の企画書と設計書と構想設計』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2014. 11
- 160 実際の設計選書「実際の設計（機械設計の考え方と方法） [改訂新版]」畑村洋太郎編著，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，2014. 12
- 161 「プロダクトデザインの基礎（スマートな生活を実現する71の知識）」日本インダストリアルデザイナー協会編，ワークスコーポレーション，2014. 12（参考）類似題名2009. 7あり
- 162 「エンジニアリングデザイン（工学設計の体系的アプローチ） [第3版]」G. ポール & W. バイツほか共著，ケン・ワラスほか英訳編，金田徹訳者代表，森北出版，2015. 2（原著）Engineering Design: A Systematic Approach (Third Edition)，G Pahl & W Beits & J Feldhusen & K H Grote, Edited by K Wallas & L Blessing, Springer London, 2007 英語版（注）第4章 製品開発プロセス & 第5章 設計課題の明確化，P133-166/第6章 概念設計 & 第7章 実体設計，P167-449（参考）「工学設計」培風館1995. 2の改題改訂版
- 163 実際の設計選書「設計者に必要なメカトロニクスの基礎知識」実際の設計研究会監修，松本潔著，日刊工業新聞社，2015. 2
- 164 「箱の設計（自由自在に『箱』を生み出す基本原理と技術）」ポール・ジャクソン著，牧尾晴喜訳，ビー・エヌ・エヌ新社，2015. 7（原著）Structural Packaging: Design Your Own Boxes and 3-D Forms, Paul Jackson, Laurence King Publishing Ltd., 2012
- 165 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい機械材料の本」Net P. E. Jp編著，横田川昌浩ほか共著，日刊工業新聞社，2015. 11（参考）類似題名2013. 9あり

- 166 「初級設計者のための実例から学ぶ プラスチック製品開発入門」大塚正彦著，日刊工業新聞社，2015. 12
- 167 「実務に役立つ機械設計の考え方・進め方」鈴木剛志著，オーム社，2016. 1 ※電子版あり（注）3章 機械設計の手順，P91-133
- 168 「新人製品設計者と学ぶ プラスチック製品設計の基礎」伊藤英樹著，日刊工業新聞社，2016. 3
- 169 「レーザ加工で進める工法転換（製品設計に必ず役立つ実務ノウハウ）」金岡優著，日刊工業新聞社，2016. 3
- 170 京都大学デザインスクールテキストシリーズ1「デザイン学概論」石田亨編，共立出版，2016. 4
- 171 「設計の科学 創造設計思考法（失敗知識のウェブ脳モデル）」飯野謙次著，普賢堂，2016. 6
- 172 「よくわかる『設計手法』活用入門」大富浩一著，日刊工業新聞社，2016. 7
- 173 「ケーススタディで理解する公差設計入門（設計者は図面で語れ!）」プラーナー編，栗山晃治・木下悟志共著，日刊工業新聞社，2016. 8
- 174 「設計ミス防止のための検図の着眼点と進め方（ベテランの技を盗め!）」岡村大著，日刊工業新聞社，2016. 8
- 175 「製品開発は『機能』にばらして考えろ（設計者が頭を抱える『7つの設計問題』解決法）」オリンパス・ECM推進部監修，緒方隆司著，日刊工業新聞社，2017. 2
- 176 実際の設計選書「続・実際の設計（機械設計に必要な知識とデータ）[改訂新版]」畑村洋太郎編著，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，2017. 3
- 177 「図解 機械設計手ほどき帖」渡辺康博著，日刊工業新聞社，2017. 4（注）第2章 設計構想の立て方，P23-54
- 178 「ノイズ対策を波動・振動の基礎から理解する!」鈴木茂夫著，日刊工業新聞社，2017. 7
- 179 日本語-英語バイリンガル・ブック「モノづくり×モノづくりのデザインサイエンス（経営戦略に新価値をもたらす10の知恵）」松岡由幸著，近代科学社，2017. 12 ※電子版あり
- 180 「機械設計 ここまでわかれば『一人前』（チェックシートであなたのレベルがわかる）」鈴木良之編著，日刊工業新聞社，2018. 1（注）Ⅲ. 構想設計，P75-88
- 181 「『設計力』こそがダントツ製品を生み出す（やみくも先行開発を打破する7つの設計力）」寺倉修著，日刊工業新聞社，2018. 2
- 182 「見てすぐわかる 板金部品の最適設計法」小渡邦昭著，日刊工業新聞社，2018. 3
- 183 「『折り』の設計（ファッション、建築、デザインのためのプリーツテクニック）」ポール・ジャクソン著，牧尾晴喜訳，ビー・エヌ・エヌ新社，2018. 3 ※電子版あり [プリーツ：Pleats=折り目]
- 184 「めっちゃ、メカメカ! 強度設計（壊れない部品のカタチって、どうやって決めるん!）」高橋和樹著，山田学監修，日刊工業新聞社，2018. 3（参考）類似題名2018. 4あり
- 185 「デザイン科学概論（多空間デザインモデルの理論と実践）」松岡由幸監修，加藤健郎ほか執筆，慶応義塾大学出版会，2018. 3 ※電子版あり（注）第2部 第4章 機械システムのデザイン，P108-119
- 186 「エンジニアリング・デザインの教科書」別府俊幸著，平凡社，2018. 4（注）6. 3 VEバリューエンジニアリング，P168-181
- 187 「めっちゃ、メカメカ! 基本要素形状の設計（カタチを決めるには理屈がいるねん!）」山田学著，日刊工業新聞社，2018. 4（参考）類似題名2018. 3あり
- 188 京都大学デザインスクールテキストシリーズ3「アーティファクトデザイン」榎木哲夫編著，松原厚ほか共著，共立出版，2018. 4（注1）CHAPTER2 4 価値分析と価値工学，P33-35（注2）CHAPTER2 2 一般設計学&3 設計公理論，P28-32 [アーティファクト：Artifact=人工物]
- 189 「エレクトロニクスのための熱設計完全制覇」国峰尚樹著，日刊工業新聞社，2018. 5（参考）類似題名1997. 7あり
- 190 「機能セル設計（『魅力あるモノ』の開発設計を10倍効率化）」梓澤昇著，日刊工業新聞社，2018. 9
- 191 「ロボットメカニズム（機構学・機械工学の基礎）」松元明弘・横田和睦共著，オーム社，2018. 12（参考）同一題名2009. 6あり
- 192 おもしろサイエンス「折り紙の科学」萩原一郎・奈良知恵共著，日刊工業新聞社，2019. 3
- 193 「シッカリ学べる! 機械技術者のための振動・騒音対策技術」小林英男著，日刊工業新聞社，201

9. 4

- 194 「熱設計を考慮したEMC設計の基礎知識」鈴木茂夫著，日刊工業新聞社，2019. 5
- 195 「機械設計の知識がやさしくわかる本」西村仁著，日本能率協会マネジメントセンタ，2019. 6
(注1) 第8章 コストダウン設計のコツ，P169-188 (注2) 第10章 機械の品質と標準化，P203-218
- 196 「中小・零細製造業のための成長戦略と新製品開発の秘訣30 (令和時代を生き抜く)」清水ひろゆき著，セルバ出版発行/創英社・三省堂書店発売，2019. 10
- 197 「デザイン科学事典」日本デザイン学会編，丸善出版，2019. 10

D. 設計管理・社内標準化・設計審査 (デザインレビュー: Design Review) / CAD&CAE /コンカレント・エンジニアリング/PLM/BOM/BIM&CIM

[注1] CAD&CAE: Computer Aided Design & Computer Aided Engineering

※類似用語で、CAM&CAT: Computer Aided Manufacturing & Computer Aided Testingもある。

[注2] コンカレント・エンジニアリング: Concurrent Engineering=新製品開発プロセスを同時並行的に進めて、開発期間の短縮を図るもの

[注3] PLM: Product Lifecycle Management=製品ライフサイクル管理

[注4] BOM: Bill of Materials=部品表、マテリアル (材料・部品・中間品など) の数量的な関係を示した一覧表のこと。※生産管理分野の用語で、別の略語『MRP: Material Requirement Planning=資材所要量計画』/『ERP: Enterprise Resource Planning=統合業務パッケージ』もある。

[注5] BIM&CIM: Building Information Modeling & Construction Information Modeling、

※生産管理分野の用語で、同一略語の『CIM: Computer Integrated Manufacturing=コンピュータによる統合生産』がある。

I. 1990 (平成2) 年以前

- 001 「機械技術者のための設計管理の実際」大西清著，オーム社，1964. 3
- 002 管理ポイントシリーズ「設計の管理ポイント (素人にもできる設計管理)」遠藤健児著，税務経理協会，1979. 3
- 003 「おはなし社内標準化」緒方健二著，日本規格協会，1979. 10
- 004 「研究・設計・管理の実際」早坂寿雄著，オーム社，1981. 1
- 005 「デザインレビュー (開発・設計における製品保証のカギ)」市田嵩・牧野鉄治共著，日科技連出版社，1981. 8
- 006 経営工学シリーズ12「標準化」古川光ほか共編著，日本規格協会，1981. 12 (参考) 改訂版1989. 3あり
- 007 経営生産実務シリーズ13「設計管理の知識」中村和夫著，日刊工業新聞社，1982. 7
- 008 「社内標準化12のポイント」梅田政夫著，日本規格協会，1984. 2
- 009 QC入門講座3「社内標準化とその進め方」鉄健司編，久利孝一ほか共著，日本規格協会，1984. 5 (参考) 第2版1992. 12/新版1999. 12あり
- 010W 「VRP・部品半減化計画」高遠秋良・鈴江歳夫共著，日本能率協会，1984. 10 [VRP: Variety Reduction Program] [日本能率協会⇒日本能率協会マネジメントセンタ]
- 011 計画シリーズ「社内標準化計画の立て方」小浦孝三著，税務経理協会，1985. 3
- 012 「製品の開発・設計管理 (実務と改善法)」宮田武著，日刊工業新聞社，1985. 11 (注1) 3. 製品企画の要点と手法，P27-48 (注2) 6. 製品原価の管理，P87-101
- 013 「社内標準化便覧」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1985. 11 (注) II. 8. 機能分析，P291-349 (参考) 第2版1989. 12/第3版1995. 2あり
- 014 「実践 設計管理 (設計の効率化と標準化)」藤田速雄編集・執筆代表，日本規格協会，1986. 10 (注1) 9. 8 VE (価値工学)，P180-181/9. 5 設計の対象としての機能，P171-174 (注2) 4 設計の標準化についての考え方，P75-91/7 製品・部品の標準化と設計方法の標準化，P121-140
- 015W 「トラブルをさけるための仕様書とコストダウン」伊藤健一著，日刊工業新聞社，1986. 10

- 016 「早わかり社内標準化」土岐光編，日本規格協会，1987. 3
- 017 「社内標準化推進の実際（事例に学ぶ対応策とその要点）」日野保夫ほか共編著，日本規格協会，1987. 10
- 018 「これからの社内標準化（経営の効率化をめざす）」梅田政夫著，日本規格協会，1987. 11
- 019W 「VRP技法による 実践製品コストダウン」JMAコンサルティング編，鈴江歳夫・高橋昭夫共著，日本能率協会（JMA），1988. 4
- 020 経営工学シリーズ12「標準化〔改訂版〕」古川光ほか共編著，日本規格協会，1989. 3
- 021 「社内標準化総論」社内標準化総論編集委員会編，日本規格協会，1989. 3
- 022 「デザインレビュー事例集」市田嵩編，日科技連出版社，1989. 12
- 023 「社内標準化便覧〔第2版〕」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1989. 12（注）II. 10. 機能分析，P381-448（参考）第3版1995. 2あり
- 024 「設計業務改善の手法と実務」中村和夫著，日刊工業新聞社，1990. 3（注）3. 3. 設計とVE，P44-51
- 025 「おはなしデザインレビュー」菅野文友・山田雄愛共編，日本規格協会，1990. 3（参考）改訂版2001. 9あり

II. 1991（平成3）年～2010（平成22）年

- 026 「デザイン・レビューの実務（新製品研究開発成功の秘訣）」吉川直昭著，日刊工業新聞社，1991. 6
- 027 「実践 社内標準化」金子晃著，日本規格協会，1992. 2
- 028 「設計管理のすすめ方」高達秋良著，日本能率協会マネジメントセンタ，1992. 9
- 029 「コンカレント・エンジニアリング（顧客ニーズ対応の製品開発）」D.E.カーター&B.S.バーカー共著，メンター・グラフィックス・ジャパン訳，日本能率協会マネジメントセンタ，1992. 11（原著）Concurrent-Engineering: The Product Development Environment for the 1900s, Donald E. Carter & Barbara S. Baker, Addison-Wesley Publishing Company Inc., 1992
- 030 「コンカレント・エンジニアリングのすすめ方（早く、安く、高品質を実現する新技法『CE製品開発』のすべて）」鈴江歳夫著，日本能率協会マネジメントセンタ，1992. 12
- 031 QC入門講座3「社内標準化とその進め方〔第2版〕」鉄健司編，久利孝一ほか共著，日本規格協会，1992. 12（参考）新版1999. 12あり
- 032 計算力学とCAEシリーズ8「コンカレントエンジニアリング」福田収一著，培風館，1993. 1
- 033 「日本的デザインレビューの実際（先進的事例からの体系化）」菅野文友ほか共同編集，日科技連出版社，1993. 3
- 034 「実践 コンカレント・エンジニアリング」斎藤実著，工業調査会，1993. 7
- 035W 「製品開発リードタイムの短縮（TPMとコンカレント・エンジニアリング）」鈴木徳太郎・山品元共編著，日本プラントメンテナンス協会，1994. 3 [TPM: Total Productive / Preventive Maintenance] [日本プラントメンテナンス協会→JIPMソリューションズ⇒日本能率協会コンサルティング]
- 036W 「図解 コスト1/2〔ハーフ〕計画（コスト発生源を断つ考え方とテクニック）」鈴江歳夫著，日本能率協会マネジメントセンタ，1994. 7 [VRP技法]
- 037 「社内標準化便覧〔第3版〕」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1995. 2（注）II. 技法編 9. 機能分析，P383-450
- 038 「新製品開発のすすめ方：新技術時代の売れる商品づくり」青柳全著，日本実業出版社，1995. 9
- 039 機械工学入門シリーズ「設計管理入門」大西清著，理工学社，1995. 10
- 040 「設計期間1/2化のノウハウ（CADのムダとり、DRのムダとり）」関根憲一著，日刊工業新聞社，1995. 11 [DR: Design Review=設計審査]
- 041 「3次元CADによる設計の改革術」有泉徹著，日刊工業新聞社，1996. 7（参考）類似題名2000. 4あり
- 042 生産管理 理論と実践14「新製品開発管理」小島敏彦編著，日刊工業新聞社，1996. 10
- 043 「国際化時代の社内標準化」梅田政夫著，日本規格協会，1996. 10
- 044 社会理工学シリーズ「製品開発論」今野浩ほか共編，圓川隆夫ほか共著，日科技連出版社，1997. 6（注）8. 2 VE，P143-146

- 045 「創造的魅力製品の開発（TQMの新たな展開）」納谷嘉信ほか共著，日科技連出版社，1997. 7
[TQM: Total Quality Management]
- 046W 「製品開発のコストマネジメント（原価企画からコンカレント・エンジニアリングへ）」谷武幸編著，中央経済社，1997. 11
- 047 QC入門講座3「社内標準化とその進め方[新版]」鉄健司編，久利孝一ほか共著，日本規格協会，1999. 12
- 048 「CAEによる設計の改革術」有泉徹著，日刊工業新聞社，2000. 4（参考）類似題名1996. 7あり
- 049 「コンカレントエンジニアリングによる設計の改革術」有泉徹著，日刊工業新聞社，2000. 5
- 050 「機械安全（電気装置）／機能安全 実用化マニュアル」関口隆・佐藤吉信監修，日本機械工業連合会&日本電気計測器工業会共編，日刊工業新聞社，2001. 1（注）第3部 第5章 2. 機械安全とライフサイクルコスト（LCC）を考慮した設計，P257-266 [機能安全: Functional Safety=監視装置・防護装置などの付加機能によるリスク低減策]
- 051 「図解 企業風土革新（コンカレント・マネジメントで会社が変わる!）」斎藤実著，東洋経済新報社，2001. 8
- 052 おはなし科学・技術シリーズ「おはなしデザインレビュー[改訂版]」菅野文友・山田雄愛共編，日本規格協会，2001. 9
- 053 「社内標準の作り方と活用方法」社内標準作成研究会編，日本規格協会，2001. 12
- 054 「CAD／CAEで学ぶ 実践機械設計」創造的設計研究会編，工業調査会，2002. 3
- 055 講談社選書メチユ235「<標準>の哲学（スタンダード・テクノロジーの三〇〇年）」橋本毅彦著，講談社，2002. 3（参考）この改題文庫本版「『ものづくり』の科学史」2013. 8あり
- 056 「製造業のPLM・CPC戦略（生き残りを賭けたビジネスモデルとシステム構築）」山田太郎著，日本プラントメンテナンス協会，2002. 7
- 057 「トヨタ式未然防止手法GD³（いかにして問題を未然に防ぐか）」吉村達彦著，日科技連出版社，2002. 9
- 058 「IPD革命（製品開発の変革ソリューション）」廣瀬貞夫監修，日本IBM・IPD研究チーム編，工業調査会，2003. 1 [IPD: Integrated Product Development=統合製品開発]
- 059 「製造業のPLMと技術経営[MOT]（売れる製品・サービスをつくるビジネスモデルと情報戦略）」山田太郎著，ネクステック監修，日本プラントメンテナンス協会，2003. 6
- 060 「PLM入門（CRM、SCMに続く新経営手法）」池田良夫監修&編著，近藤敬・木村友則ほか共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2003. 6 [SCM: Supply Chain Management]
- 061 「製品ライフサイクルプランニング（ISO/TR14062の実践）」小林英樹著，オーム社，2003. 6
- 062 やさしいシリーズ5「標準化入門」梅田政夫著，日本規格協会，2003. 9
- 063 「製造業のBOM[部品表]入門（一流の製造業への王道）」Dave Gawood 著，ネクステック訳，山田太郎監修，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2003. 10（参考）日経ものづくりの本2006. 12あり
- 064 「エンジニアリング・チェーン・マネジメント（グローバル統合化部品表による生産革命）」四倉幹夫著，翔泳社，2004. 7（参考）類似題名・日刊工業新聞社2017. 8あり
- 065 図解でわかる生産の実務「BOM／部品表入門（マテリアル・マネジメントの改革の基本技術）」佐藤知一・山崎誠共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2005. 1（注）第1章 製品設計のためのBOM，P33-50
- 066 「BOM[部品表]によるモジュール化設計・生産入門」新井啓介著，日刊工業新聞社，2005. 5（注1）第2章 BOMの導入と部品の標準化の徹底，P19-50（注2）第4章 モジュール生産による生産性の向上，P85-155
- 067 「実践! PLM戦略（製造業の製品競争力優位の経営手法）」山田太郎著，ネクステック監修，PHP研究所，2005. 6
- 068 速読ビジネスシリーズ「成功するコンカレント・エンジニアリング（すり合わせを重視するプロセス革新のマネジメント）」斎藤実著，日科技連出版社，2005. 8
- 069 「図解でよくわかるBOM（モノづくりの原点し部品表にある）」松林光男監修，原滋夫・新堀克美共

- 編著，工業調査会，2005. 8
- 070 「3次元CADから学ぶ機械設計入門（初心者のための設計七つ道具）」岸佐年ほか共著，森北出版，2005. 9（参考）第2版2009. 10あり
- 071 「初心者のためのCAEによる機械強度設計」栗山好夫・笹川宏之共著，山海堂，2005. 9
- 072 「失敗百選（41の原因から未来の失敗を予測する）」中尾政之著，森北出版，2005. 10（参考）続編2010. 12／続々編2016. 2あり
- 073 「実践デジタルものづくり（エレクトロニクス産業におけるPLM）」上野泰生著，白日社，2005. 11
- 074 「実践PLM構築」澤村淑郎監修，PLM研究グループ著，工業調査会，2006. 4
- 075 「失敗から学ぶ機械設計（製造現場で起きた実際例81）」大高敏男著，日刊工業新聞社，2006. 5
- 076 「設計の英語って、どない使うねん！（現場設計者が教える 実務で使う技術英語術）」山田学著，日刊工業新聞社，2006. 8
- 077 「3次元CAD実践活用法」日本設計工学会編，コロナ社，2006. 8
- 078 実務入門「ヒューマンエラーを防ぐ技術（エラー発生メカニズムから、事故分析、具体的な対策まで）」河野龍太郎著，日本能率協会マネジメントセンタ，2006. 9
- 079 「CADって、どない使うねん！」山田学・一色桂共著，日刊工業新聞社，2006. 10
- 080 「グローバル生産のための統合化部品表のすべて（BOM／部品表の一元管理）」戸沢義夫・四倉幹夫共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2006. 12
- 081 日経ものづくりの本「製造業のBOM入門」Dave Gawood 著，ネクステック訳，山田太郎監修，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2006. 12
- 082 日経ものづくりの本「3次元ものづくり革新（デジタルデータが変える日本製造業）」鳥谷浩志著，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2006. 12
- 083 「モノを作らないものづくり（デジタル開発で時間と品質を稼げ）」富士通・日本発ものづくり研究会著，日科技連出版社，2007. 1
- 084 「トヨタ製品開発システム」ジェームズ・M. モーガン&ジェフリー・K. ライカー共著，稲垣公夫訳，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2007. 2
- 085 「図解でわかる PLMシステムの構築と導入」久次昌彦著，日本実業出版社，2007. 11
- 086 「進化し続けるトヨタのデジタル生産システムのすべて」武藤一夫著，技術評論社，2007. 12
- 087 「モノづくりの落とし穴（製品事故・不具合に学ぶ）」内崎巖著，日刊工業新聞社，2008. 3
- 088 「ついてきなあ！加工知識と設計見積り力で『即戦力』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2008. 5（参考）類似題名2016. 1あり
- 089 「製品戦略と製造戦略のダイナミックス」二瓶喜博著，五紘舎，2008. 5
- 090 MINERVA現代経営学叢書35「製品アーキテクチャのダイナミズム（モジュール化・知識統合・企業間連携）」具承桓著，ミネルヴァ書房，2008. 5
- 091 「業界が一変する BIM建設革命」山梨知彦著，日本実業出版社，2009. 2
- 092 「製品事故に学ぶフルプルーフ設計」内崎巖著，日刊工業新聞社，2009. 3 [フル・プルーフ：Fool Proof、類似語フェイル・セーフ：Fail Safe もあり]
- 093 「機構解析の基礎（機構学から機構解析シミュレータまで）」波多江茂樹著，日刊工業新聞社，2009. 4 [CAE]
- 094 角川onlineテーマ21A-99「創造はシステムである（『失敗学』から『創造学』へ）」中尾政之著，角川書店発行／角川グループパブリッシング発売，2009. 5 ※電子版あり [角川書店⇒KADOKAWA]
- 095 「3次元CADで学ぶ機械設計の基礎知識」大高敏男著，日刊工業新聞社，2009. 6
- 096 「3次元CAD・CAE・CAMを活用した創造的な機械設計（Solid Works を活用した設計・製作）」金沢大学設計教育グループ著，日刊工業新聞社，2009. 8
- 097 「3次元CADから学ぶ機械設計入門（初心者のための設計七つ道具）[第2版]」賀勢普司ほか共著，岸佐年監修，森北出版，2009. 10
- 098 「失敗学と創造学（守りから攻めの品質保証へ）」濱口哲也著，日科技連出版社，2009. 10
- 099 「ついてきなあ！加工部品設計で3次元CADのプロになる！（『設計リバイバル術』てんこ盛り）」國井良昌著，日刊工業新聞社，2010. 2（参考）類似題名2012. 4あり

- 100 「絵ときでわかる 3次元CAD (選び方・使い方・メリットの出し方)」水野操著, 日刊工業新聞社, 2010. 3
- 101 「ずっと受けたかったソフトウェア開発管理の集中研修」宇治則孝監修, 大森久美子ほか共著, 翔泳社, 2010. 4 ※電子版あり
- 102 「知っておくべき家電製品事故50選 (事故を知るとリスクが見えてくる)」中尾政之・宮村利男共著, 日刊工業新聞社, 2010. 11
- 103 「続・失敗百選 (リコールと事故を防ぐ60のポイント)」中尾政之著, 森北出版, 2010. 12 ※電子版あり (参考) 続々編2016. 2あり
- 104 「ついてきなあ! 設計トラブル潰しに『匠の道具』を使え! (FMEAとFTAとデザインレビューの賢い使い方)」國井良昌著, 日刊工業新聞社, 2010. 12 [FMEA: Failure Mode & Effect Analysis=故障モード影響解析] [FTA: Fault Tree Analysis=フォルトトリー解析]

Ⅲ. 2011 (平成23) 年以降

- 105 「機械・設備のリスクアセスメント (セイフティ・エンジニアがつなぐメーカーとユーザのリスク情報)」向殿政男監修, 日本機械工業連合会編, 川池襄・宮崎浩一共著, 日本規格協会, 2011. 2
- 106 「機械設備リスクアセスメント事例集 (事業場における取組事例とリスクアセスメント手法)」中央労働災害防止協会編, 中央労働災害防止協会, 2011. 4
- 107 JSQC選書14「FMEA辞書 (気づき能力の強化による設計不具合未然防止)」日本品質管理学会監修, 本田陽広著, 日本規格協会, 2011. 5
- 108 「機能安全/機械安全規格の基礎とリスクアセスメント (SIL、PL、自動車用SILの評価法)」佐藤吉信著, 日刊工業新聞社, 2011. 8 [SIL: Safety Integrity Level=安全度水準]
- 109 「安全設計とリスク評価 (事故を未然に防ぐ)」熊谷英樹・吉川博共著, 技術評論社, 2011. 8
- 110 「『設計現場力』25のポイント (企画から生産準備までの設計プロセスを改善する)」郷保直著, 日刊工業新聞社, 2012. 1
- 111 「Solid Worksでできる 設計CAE (この部品はこうやって解析する!)」水野操著, 日刊工業新聞社, 2012. 2
- 112 「ついてきなあ! 加工部品設計の『儲かる見積り力』大作戦」國井良昌著, 日刊工業新聞社, 2012. 4 (参考) 類似題名2010. 2あり
- 113 「『設計現場力』を見える化するレベル診断 (25のポイントでレベルがわかる、伸びる)」郷保直編著, 日刊工業新聞社, 2012. 6
- 114 「製造業の業務改革推進者のためのグローバルPLM (グローバル製造業の課題と変革マネジメント)」三河進著, 日刊工業新聞社, 2012. 6
- 115 「図解入門 よくわかる最新BIMの基本と仕組み (設計・建設の生産性が飛躍的に向上)」家入龍太著, 秀和システム, 2012. 6 ※電子版あり (参考) 第2版2019. 3あり
- 116 「見て即実践! 事例でわかる標準化」細谷克也編著, 香川博昭ほか共著, 日科技連出版社, 2012. 6 (注) 第6章 6. 5. 2 VA/VE提案書, P113-117
- 117 「ヒューマンエラーと機械・システム設計 (事例で学ぶ事故防止策)」柚原直弘ほか共編, 講談社, 2012. 8
- 118 「図解CAD/CAM入門 (CAD/CAE/CAM/CATによるものづくりを解説)」武藤一夫著, 大河出版, 2012. 8
- 119 「本当に使える開発プロセス (システム開発をより速く確実に)」岡大勝・三宅和之共著, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2012. 11 (参考) 改訂版2018. 6あり
- 120 「機械・設備のリスク低減技術 (セイフティ・エンジニアの基礎知識)」向殿政男監修, 日本機械工業連合会編, 日本規格協会, 2013. 7
- 121 講談社学術文庫2187「『ものづくり』の科学史 (世界を変えた<標準革命>)」橋本毅彦著, 講談社, 2013. 8 ※電子版あり (参考) 「<標準>の哲学」2002. 3の改題文庫本版
- 122 「間違いだらけの設計レビュー (なぜ重大な問題を見逃すのか?)」森崎修司著, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2013. 9 (参考) 改訂版2015. 9あり
- 123 「CIMが2時間でわかる本 (3Dで土木インフラの造り方はこう変わる)」家入龍太著, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2013. 12 [3D: Three Dimension=3次元]

- 124 「成功する新商品開発プロジェクトのすすめ方」和田憲一郎著，同文館出版，2014. 6
- 125 「機能安全の基礎」佐藤吉信著，日本規格協会，2014. 6
- 126 「BOMで会社の利益体質を改善しよう！（中小企業だからこそできる）」谷口潤著，日刊工業新聞社，2014. 6
- 127 「『設計力』を支える デザインレビューの実務（品質不具合はこうやってなくせ!）」寺倉修著，日刊工業新聞社，2014. 8
- 128 「ドキュメント トヨタの製品開発（トヨタ主査制度の戦略、開発、制覇の記録）」安達瑛二著，同文館出版，2014. 9
- 129 「3Dプリンタによるプロトタイピング」東京都産業技術研究センタ編，オーム社，2014. 9 ※電子版あり [プロトタイピング：Proto-typing=試作モデルの製作]
- 130 「製品開発の『見える化』99」北山厚ほか共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2014. 10
- 131 シリーズEngineering Systems「デザイン・ストラクチャー・マトリクスDSM（複雑なシステムの可視化とマネジメント）」スティーブン・D.エッピンジャー&タイソン・R.ブラウニング共著，西村秀和監訳，大富浩一・関研一共訳，慶応義塾大学出版会，2014. 10（原著）Design Structure Matrix Methods and Applications, Steven D.Eppinger & Tyson R.Browning, Massachusetts Institute of Technology, 2012
- 132 「中小企業のための新製品・サービス開発の極意」大竹裕幸著，発明推進協会，2014. 11
- 133 「これだけ！BIM」家入龍太著，秀和システム，2015. 1 ※電子版あり
- 134W 「製品開発段階からの部品共通化によるコスト低減プロセス」塩見浩介著，同友館，2015. 2
- 135 「強度検討のミスをなくす CAEのための材料力学」遠田征正著，日刊工業新聞社，2015. 3
- 136 「手戻りのない先行開発（QFDの限界を超える新しい製品実現化手法）」加藤芳章著，日刊工業新聞社，2015. 5（注）第2章 2-1 7つの着眼点で機能・属性分析を行う，P42-49
- 137 「間違いだらけの設計レビュー（なぜ重大な問題を見逃すのか？）[改訂版]」森崎修司著，日経SYSTEMS編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2015. 9 ※電子版あり
- 138 「プロフィタブル・デザイン（iPhoneがもうかる本盗の理由）」北山一真著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2015. 10 ※電子版あり（注）第4章 4. 8 コストテーブル，P155-173 [プロフィタブル・デザイン：Profitable Design=利益獲得設計]
- 139 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい『コンカレント・エンジニアリング』の本」原嶋茂著，日刊工業新聞社，2015. 11
- 140 「ついてきなあ！組立知識と設計見積り力で『設計職人』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2016. 1（参考）類似題名2008. 5あり
- 141 経営者新書158「製造業の3Dテクノロジー活用戦略」鳥谷浩志著，幻冬舎メディアコンサルティング発行/幻冬舎発売，2016. 1 ※電子版あり
- 142 「CIM入門（建設生産システムの変革）」矢吹信音著，理工図書，2016. 1
- 143 「続々・失敗百選（『違和感』を拾えば重大事故は防げる 原発事故と『まさか』の失敗学）」中尾政之著，森北出版，2016. 2 ※電子版あり
- 144 「製品開発と市場創造：技術の社会的形成アプローチによる探究」宮尾学著，白桃書房，2016. 6
- 145 「標準化教本（世界をつなげる標準化の知識）」江頭学著，日本規格協会，2016. 7
- 146 「BIM その進化と活用（建築を目指す人、BIMに取り組む人のガイドブック）」『BIM その進化と活用』編集委員会編著，日刊建設通信新聞社，2016. 9（注）6-1 BIMガイドライン（国土交通省大臣官房官庁営繕部）制定 & 6-2 BIM導入プロジェクト事例（同左），P148-183
- 147 「3DCAD+CAEで設計力を養え（SOLID WORKSでできる設計CAE）」水野操著，日刊工業新聞社，2016. 11
- 148 「BIM/CIMワールド（BIM/CIMモデル活用を広げる最新技術）」家入龍太監修，フォーラムエイト編著，日刊建設通信新聞社，2016. 12
- 149 「目で見る機能安全」神余浩夫著，日本規格協会，2017. 4
- 150 「主として建築設計者のためのBIMガイド」次世代公共建築研究会IFC BIM部会ほか共編，建築保全センタ発行/大成出版社発売，2017. 5
- 151 「XCNクロスチェックつきなぜなぜ分析（設計品質リスクの見える化で品質トラブル未然防止）」鶴田明三著，日本規格協会，2017. 6

- 152 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい3Dものづくりの本」柳生浄勲ほか共著，日刊工業新聞社，2017. 6
- 153 「実践！エンジニアリング・チェーン・マネジメント（IoTで設計開発革新）」日野三十四著，日刊工業新聞社，2017. 8 [IoT: Internet of Things]（参考）類似題名・翔泳社2004. 7あり
- 154 「モノづくりを変える17の気付き（PLM開発の悩みを解消!）」加藤幸司著，グイーツソリューション，2017. 12
- 155W 「設計者のためのコスト見積もり力養成講座（加工品のコスト算定方法を学ぶ）」間館正義著，日刊工業新聞社，2018. 3
- 156 「生産性革命のためのプロジェクト型品質マネジメント手法PQM（お客様ファーストの新製品開発から商品化までのプロセス改革）」宗像令夫編著，リコーテクノロジー・PQM推進チーム著，日科技連出版社，2018. 3 [PQM: Project Quality Management=プロジェクト型品質マネジメント]
- 157 「本当に使える開発プロセス（システム開発をより速く確実に）[改訂版]」岡大勝・三宅和之共著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2018. 6 ※電子版あり
- 158 「本気で取り組むFMEA（全員参加・全員議論のトラブル未然防止）」上篠仁著，日刊工業新聞社，2018. 6
- 159 「開発者のための市場分析技術（顧客を洞察するための分析アプローチ）」丸山一彦編著，杉浦正明著，日科技連出版社，2018. 12
- 160 「BOM [部品表] 再構築の技術（5つの問題解決パターンから学ぶ実践メソッド）」三河進著，日本能率協会マネジメントセンタ，2018. 12
- 161 「攻めの設計戦略（ライバルを打ち負かす設計指南書）」國井良昌著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2019. 1 ※電子版あり
- 162 「英語嫌いのエンジニアのための技術英語」坂東大輔著，日刊工業新聞社，2019. 2
- 163 「超・実践的3次元CAD活用ノウハウ（手戻りを撲滅する!）」西川誠一著，日刊工業新聞社，2019. 2（注）第1章 1. 3 機能の具現化（step 2），P21-33
- 164W 「進化型QFDによる技術情報の『使える化』（FMEA、DRBFM、品質工学、FTA、TRIZの効率的活用）」岡健樹・奈良岡悟共著，日科技連出版社，2019. 2
- 165 「図解入門 よくわかる最新BIMの基本と仕組み（設計・施工の生産性が飛躍的に向上）[第2版]」家入龍太著，秀和システム，2019. 3
- 166 「未然防止のための過去トラ集の作り方・使い方（品質問題をゼロにするFMEA・DR実施方法）」本田陽広著，日科技連出版社，2019. 5
- 167 「製造業の生き残りをかけたモジュラー化戦略」アンナ・エリクソン&ガンナー・エリクソン共著，松尾直ほか共訳，ファーストプレス，2019. 5
- 168 「BIMのかたち（Society5.0へつながる建築知）」日本建築学会編，彰国社，2019. 7
- 169W 「儲かるモノづくりのためのPLMと原価企画（設計・製造・会計の連携がもたらす新しい経営手法）」北山一真ほか共著，東洋経済新報社，2019. 9